

第23回定時株主総会決議ご通知

当社第23回定時株主総会において、下記の通り報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
- 第23期(2023年1月1日から2023年12月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。
 - 第23期(2023年1月1日から2023年12月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。
- 決議事項**
- 第1号議案 定款の一部変更の件 本件は、原案の通り承認可決されました。
 - 第2号議案 取締役7名選任の件 本件は、原案の通り承認可決されました。
 - 第3号議案 取締役に対する業績連動型株式報酬制度導入の件
本件は、原案の通り承認可決されました。

以上

会社情報、株式情報

Corporate Data / Stock Information

会社概要 (2023年12月31日現在)

商号	株式会社ビジョン
創業	1995年6月
設立	2001年12月
本店所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア8階
資本金	2,571,601,000円
従業員数	563名 ※当社グループの従業員数 744名 ※上記従業員数には、使用人兼務役員および臨時従業員(パートタイマーおよび派遣社員)は含んでおりません。
事業内容	1. グローバルWiFi事業 海外事業、国内事業 2. 情報通信サービス事業 固定通信事業、移動体通信事業、ブロードバンド事業、OA機器販売事業、インターネットメディア事業 3. グランピング・ツーリズム事業 4. その他

役員 (2024年3月28日現在)

代表取締役会長 CEO	佐野 健一
代表取締役社長 COO	大田 健司
取締役 CFO	中本 新一
取締役	※ 内藤 真一郎
取締役	※ 原田 静織
取締役	※ 那珂 通雅
取締役	※ 森 詩絵里
常勤監査役	※ 梅原 和彦
常勤監査役	丹羽 哲也
監査役	※ 茂田井 純一
監査役	※ 寛角 淳

※社外役員となっております。

株主メモ

証券コード 9416	剰余金の配当の基準日 12月31日、6月30日
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場	1単元の株式数 100株
事業年度 1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3か月以内	事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
基準日 12月31日	

株式の状況 (2023年12月31日現在)

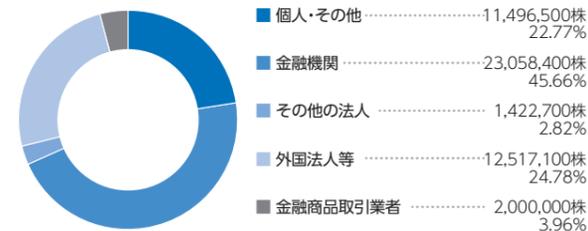
発行可能株式総数	123,000,000株
発行済株式の総数	50,505,300株
株主数	11,666名

大株主

株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,035	16.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,902	12.21
みずほ信託銀行株式会社有価証券管理信託(佐野健一口0730078号)	4,051	8.38
佐野 健一	2,611	5.40
INTERACTIVE BROKERS LLC	2,413	4.99

※所有比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況



※単元未満株式10,600株は上記株式分布状況から除外しております。
※「個人・その他」には自己株式2,171,600株を含んでおります。
※株式数比率について
小数点第3位以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。



BUSINESS REPORT Vol.9

2023年1月1日 ▶ 2023年12月31日

株式会社ビジョン

証券コード：9416

売上高、全ての利益項目で過去最高を更新！



グローバルWiFi事業 GLOBAL WiFi

世界200以上の国と地域で使えるパケット定額制の海外用Wi-Fiルーターレンタルサービスです。訪日外国人や、日本への一時帰国・出張などの方向けの日本国内用Wi-Fiルーターレンタルサービスも提供しています。

情報通信サービス事業 INFORMATION AND COMMUNICATIONS

固定通信サービス、移動体通信サービス、OA機器、ビジネスフォン、Webサイト制作など、企業活動に必要な通信インフラやオフィス機器をご提供しています。お客様の成長ステージにおけるニーズにお応えします。

グランピング・ツーリズム事業 GLAMPING AND TOURISM

プライベート空間に広がる自分たちだけの時間。ドーム型テントにBBQ設備、露天風呂などを設置。自然との一体感の中、充実した宿泊体験をお楽しみください。

株主優待制度を拡充しました

当社は、株主様の日頃からのご支援、ご愛顧に感謝するとともに、多くの皆様に当社の魅力をより一層ご理解いただくことを目的として、株主優待制度の拡充(対象サービスの拡充)を実施いたしました。

優待内容

当社サービスである国内外でモバイルインターネット通信が可能なWi-Fiルーターレンタルサービス「グローバルWiFi」、[VISION GLAMPING Resort & Spa]の宿泊、およびスキンケアシリーズ[**KO SHI KA | こしか**]の3点セットのご利用券を贈呈。

新規追加対象サービス

スキンケアシリーズ
[**KO SHI KA | こしか**]

Lotion (ローション) 化粧水 150mL
Milk (ミルク) 乳液 100mL
Gel (ジェル) 50g



保有株式数	基準日	
	毎年6月30日	毎年12月31日
100株以上200株未満	3,000円分×2枚	3,000円分×2枚
200株以上300株未満	3,000円分×3枚	3,000円分×2枚
300株以上	3,000円分×3枚	3,000円分×3枚
送付時期	毎年8月	毎年3月
備考	到着日より利用可能	到着日より利用可能

ご利用方法・お問い合わせ先

株主様専用ページ (<https://vision-net.co.jp/stocks>) をご利用ください。
お電話でのお問い合わせ 受付時間 09:00~18:00
株主様専用ダイヤル 0120-390-388
※詳細は、「株主様ご優待券」記載の諸注意事項をご確認ください。

株主様専用ページはこちら

<https://vision-net.co.jp/stocks>



株式会社ビジョン
〒160-0022
東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア8階



トップメッセージ
Top Message



代表取締役会長 CEO
佐野 健一

代表取締役社長 COO
大田 健司

事業規模が拡大する中、経営体制の変更により意思決定の迅速化を図り、グループの成長戦略を推進しました。

2023年3月に代表取締役会長 CEOに佐野健一が、併せて代表取締役社長 COOに大田健司が就任する経営体制の変更を実施し、4月には新たな経営体制としてスタートしました。役割分担を明確化したことで迅速な意思決定が可能となり、当期は成長戦略をスピーディかつ強力に進めることができました。

Q 2023年12月期決算のポイントについて、お聞かせください。

当期は売上高318億円（前期比24.8%増）、営業利益42億円（同77.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益30億円（同95.4%増）と前期実績を大きく上回り、売上・利益とも過去最高を更新することができました。営業利益率も前期の9.5%から13.5%に改善しています。

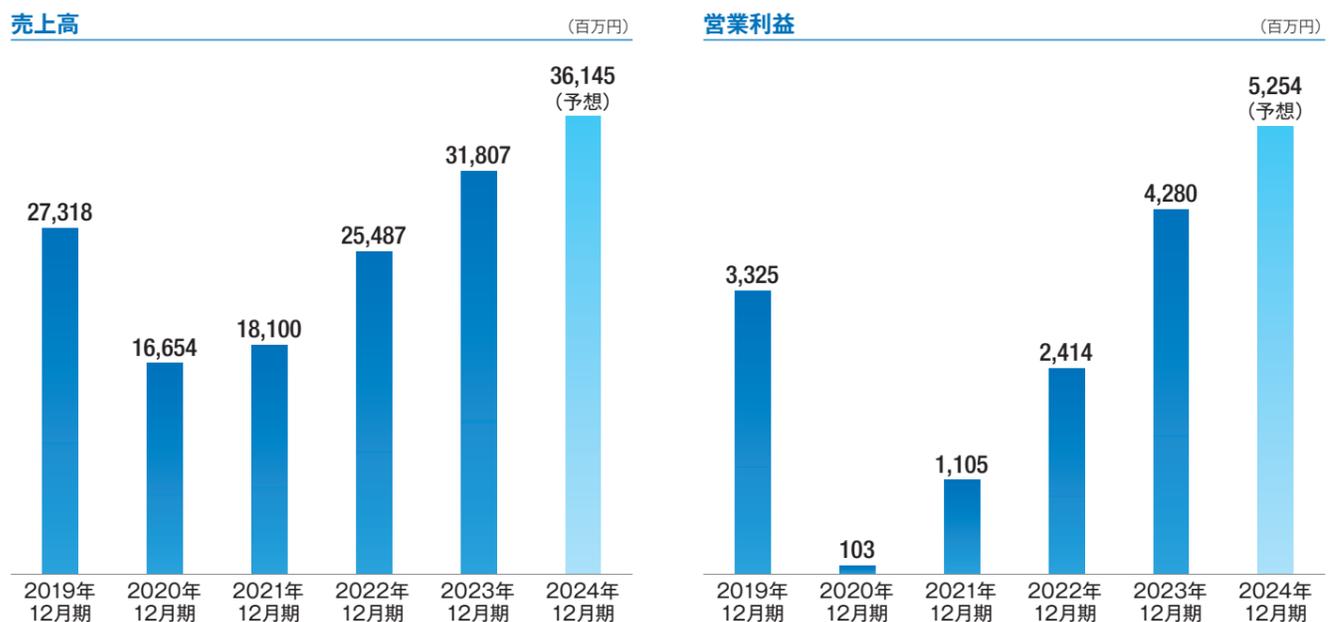
グローバルWiFi事業では、訪日外国人数がコロナ前の2019年比78.6%、出国日本人数が同47.9%まで回復が進んだことなどを背景に、売上高30.1%増、セグメント利益63.5%増の増収増益となりました。インバウンドでは訪日外国人向けWi-Fiルーターレンタルサービス「NINJA WiFi」、自動販売機でのSIMカード販売が好調に推移した一方、アウトバウン

ドではデータ容量「無制限プラン」・高速データ通信「5Gプラン」の需要が高く、客単価を高く維持することができています。

情報通信サービス事業についても、売上高14.1%増、セグメント利益35.9%増と前年実績を上回りました。営業人員の採用を強化したことによりOA機器の販売が好調に推移したほか、9月より光回線サービス「ビジョン光」の販売を開始するなどストック収益の強化を進めました。

新規事業として前期よりスタートしたグランピング・ツーリズム事業は、売上高が168.4%の大幅増収となりました。セグメント利益も前期の122百万円の赤字から黒字に転換し、堅調に推移しています。

業績ハイライト Financial Highlights



Q ビジョングループの中期的な成長戦略について、教えてください。

当社グループでは、持続的成長の実現に至る一つのマイルストーンとして営業利益100億円を設定し、早期の達成を目指して以下の施策を推進しています。

グローバルWiFi事業では、①国内事業（アウトバウンド・インバウンド）の拡大およびM&Aを含むグローバル（海外⇄海外）展開による顧客基盤の拡大、②新サービスやクロスセル商材の拡充、③保有するビッグデータの有効活用——などの取り組みにより、事業拡大を目指しています。特にグローバル展開において、「グローバルWiFi」と「World eSIM」は国内のアウトバウンド・インバウンドに限らず、世界中のあらゆる人々に対し国境を超えた快適なインターネット環境の提供を目指したサービスであり、すでに台湾や韓国など一部の海外エリアで早くから事業を展開してきました。2030年には世界の海外渡航者（国際観光

客到着数）が18億人に達する*など、今後は世界の旅行需要が着実に拡大を続けると想定されています。当社グループとしても、積極的に事業エリアを拡大することでグローバル市場の成長を取り込み、さらなる飛躍につなげていきたいと考えています。

情報通信サービス事業では、引き続き①スタートアップの成長ステージに応じた最適なサービスの提供、②景気に左右されにくい取扱商材、③柔軟に変化可能な事業体制——などの強みを生かし既存事業の拡大を図るとともに、ストックビジネスの強化を進め、着実な成長を目指しています。

またグランピング・ツーリズム事業では、既存店舗の収益拡大を図るとともに、海外旅行会社との連携、旅行商品の造成などによるインバウンド需要取り込みの可能性も検討しています。

*国連世界観光機関（UNWTO）公表資料より

Q 成長戦略を踏まえた2024年12月期の取り組みについて教えてください。

今期の業績予想は、引き続き積極的に投資を行う前提で、売上高13.6%増、営業利益22.7%増、親会社株主に帰属する当期純利益15.7%増を計画しています。

グローバルWiFi事業では、海外渡航回復率71.2%、為替レート1米ドル=150円を想定し、増収増益を見込んでいます。積極的なプロモーション展開によりブランドの一層の認知向上を図るとともに、「グローバルWiFi」と「World eSIM」の本格世界販売に向け、様々な取り組みを進めています。

また、情報通信サービス事業では、中途採用による人材強化、ビジョン光など自社ストックサービスの強化など従来の取り組みを踏襲することで増収増益を、グランピング・ツーリズム

事業では既存店舗において一層のお客様満足の上昇を図ることなどにより利益の倍増を計画しています。さらにM&Aについては、グローバルWiFi・情報通信サービスの分野でシナジーが高く、株主価値の最大化が期待できる案件を積極的に探索し、機動的に実行していきたいと考えています。

最後に、当社グループでは営業利益100億円を通過点として、さらにその先の成長に向け、ESG+SDGsへの対応が大きな課題であると認識し、経済価値と社会価値の両立を目指して事業に取り組んでいます。その中で、2024年もよい結果を出せるようグループ全員で取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

中期的な成長イメージ Growth Strategy

